

# Social Impact Day 2024

インパクト・エコノミーが実現する  
“システム・チェンジ”

**"System Change"**  
driven by Impact Economy

## 開催報告書

【主催】

一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI)

一般財団法人 社会変革推進財団 (SIIF)

# 目次

- 開催概要 …p.2-5
- 数字で見るSID2024 …p.7-11
- プログラム …p.13-15
- 参加者の声 …p.16-18
- 協賛・後援・協力等 …p.19-21
- SID2024を終えて …p.22
- 主催団体の紹介 …p.23

セッション報告は、以下のWEBサイトに掲載しています。

<https://simi.or.jp/info/10658>

以下にSID2024を共同主催した[一般財団法人社会変革推進財団 \(SIIF\)](#) のDay1振り返り記事、Day1共催の[公益財団法人笹川平和財団](#)のイベント報告がアップされています。

- SIIF note：社会的インパクトに関する国内最大級イベント「Social Impact Day2024 インパクト・エコノミーが実現すシステム・チェンジ」開催報告 過去最多の参加者により無事閉幕

[https://note.com/siif\\_pr/n/ne0cc58d61eaf](https://note.com/siif_pr/n/ne0cc58d61eaf)

- 笹川平和財団 イベント報告：「インパクト創出」と「収益の創出」の好循環を実現するインドのインパクト企業に迫る！ 開催 <https://www.spf.org/gender/news/20240610.html>

# カンファレンス・テーマ

---

## インパクト・エコノミーが実現する

### “システム・チェンジ”

気候変動の深刻化や社会課題の複雑化・多様化が進む中で、官・民ともに「新しい資本主義」への転換の必要性が声高に叫ばれています。「新しい資本主義」への移行を加速させるには、従来の経済的なものさしではなく、社会的・環境的な価値という多元的なものさしで意思決定をしていく新たな社会経済システム（インパクト・エコノミー）が必要です。そのインパクト・エコノミーの担い手は、国や一部の機関（企業等）だけでなく、投資家でもあり消費者でもある意思を持つ私たち一人ひとりです。

“いかにして旧来の社会経済システムを変革できるか”

”いかにして持続可能で公正な社会を未来に残していけるか”

”いかにして人々の多様な価値観や生き方、尊厳が保障される社会が実現できるか”

これらの壮大かつ避けて通れない「問い」に対して、多様なアクターが参加型で議論を重ねて、一定の解を探っていくための場が、Social Impact Dayです。

私たちが望ましいと考える未来の扉を開くために、今こそ、インパクト・エコノミーと社会的インパクト・マネジメントの可能性を追求していきましょう。

# セッション・エリア

SID2024は、参加者の視座を高めて学びを深めるために、以下の4つのエリアを用意しました。

## Session Area

インパクト・エコノミーを実現する4つのエリア

1

### 新しい資本主義

資本主義のアップデートやオルタナティブ（代替）を考えるためのエリア

2

### エコシステム

社会課題解決のためのエコシステムの形成、コレクティブ・インパクトを考えるためのエリア

3

### リーダーシップ

インパクト志向の企業経営、エグゼクティブのリーダーシップを考えるためのエリア

4

### 知見の高度化

グローバルのインパクト・マネジメントの概念や方法論など最新動向について学ぶためのエリア

# 基調講演

## 【基調講演①】

Christian Heller氏

『インパクト会計をめぐるグローバルな潮流と今後』

Impact Accounting at the time of Regulatory Challenges



**Christian Heller 氏**

CEO Value Balancing Alliance e.V. / Vice President BASF SE / Co-chair Sustainable Finance Committee to the Federal Government of Germany

## 【基調講演②】

Alexander Rostami氏

『チャイルドレンズ投資とは～将来世代を最優先に考える投資フレームワークの紹介』

Child-lens Investing: An innovative framework to put well-being of future generations first and create the conditions for healthier and more inclusive societies



**Alexander Rostami 氏**

Chief and Founder of UNICEF's Global Innovative Finance Hub in Helsinki

## 【基調講演③】

Christina Leijonhufvud氏

『インパクト投資におけるインパクト・マネジメントの現状と課題～BlueMarkの最新ベンチマークレポートをもとに』

Benchmarking Impact Management in Impact Investing: A Discussion of BlueMark's 2024 Report



**Christina Leijonhufvud 氏**

CEO, BlueMark



**三田 紀之 氏**

三菱ケミカルグループ株式会社  
執行役員、チーフ  
サステナビリティオフィサー



**Vanina Farber 氏**

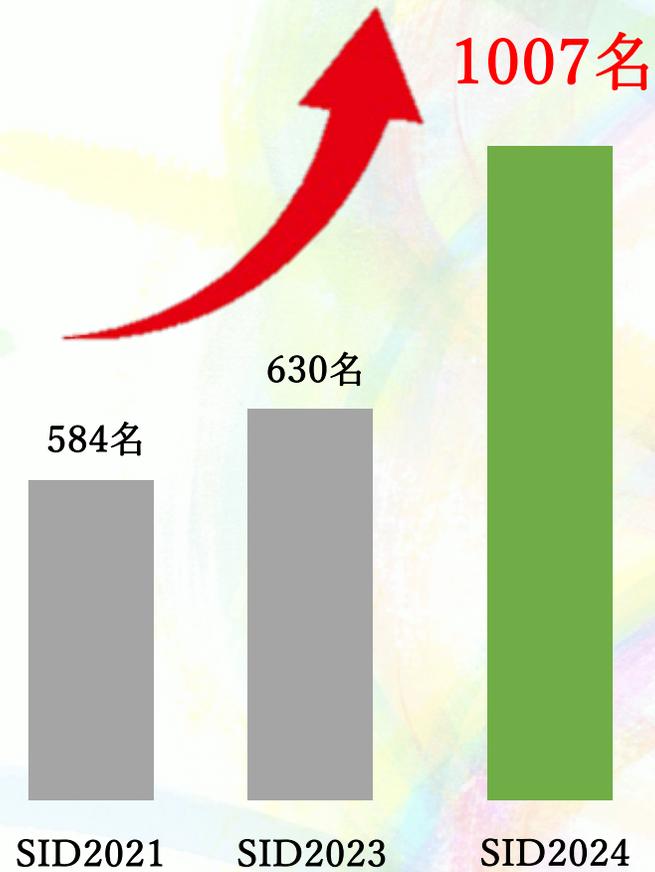
elea Professor of Social Innovation  
and Dean of the IMD EMBA program

# 当日の様子

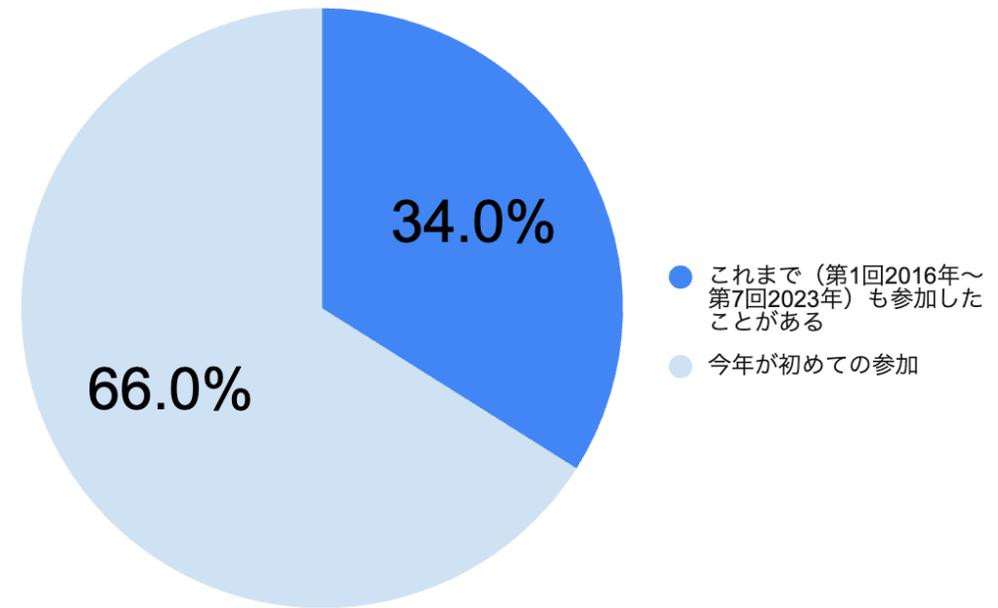


# 数字で見るSID2024

申込者数

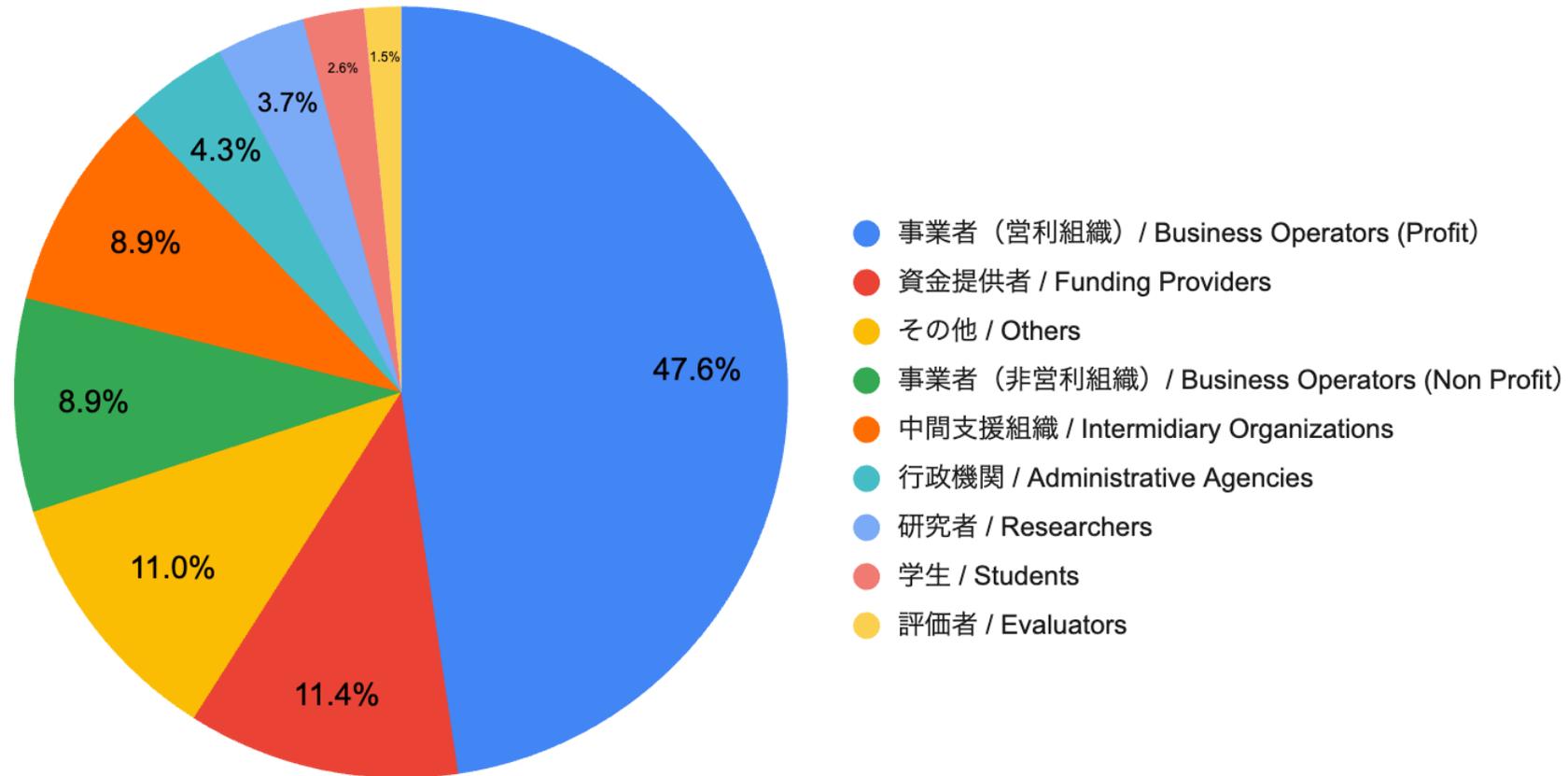


リピート率



# 数字で見るSID2024

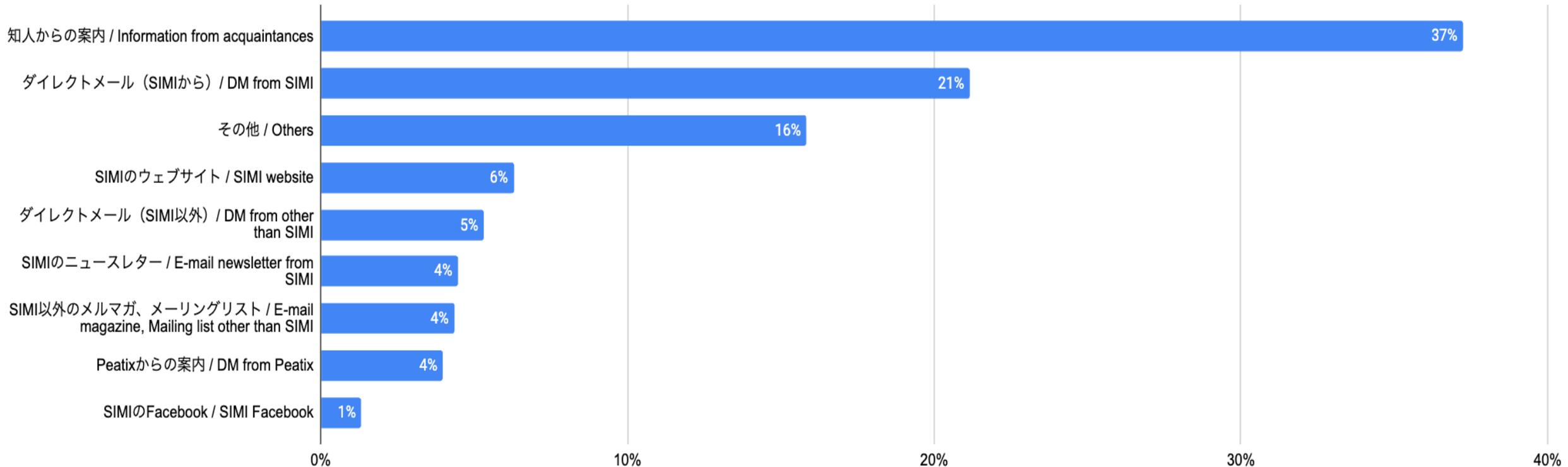
## 申込者属性



Peatix申込時の取得データより

# 数字で見るSID2024

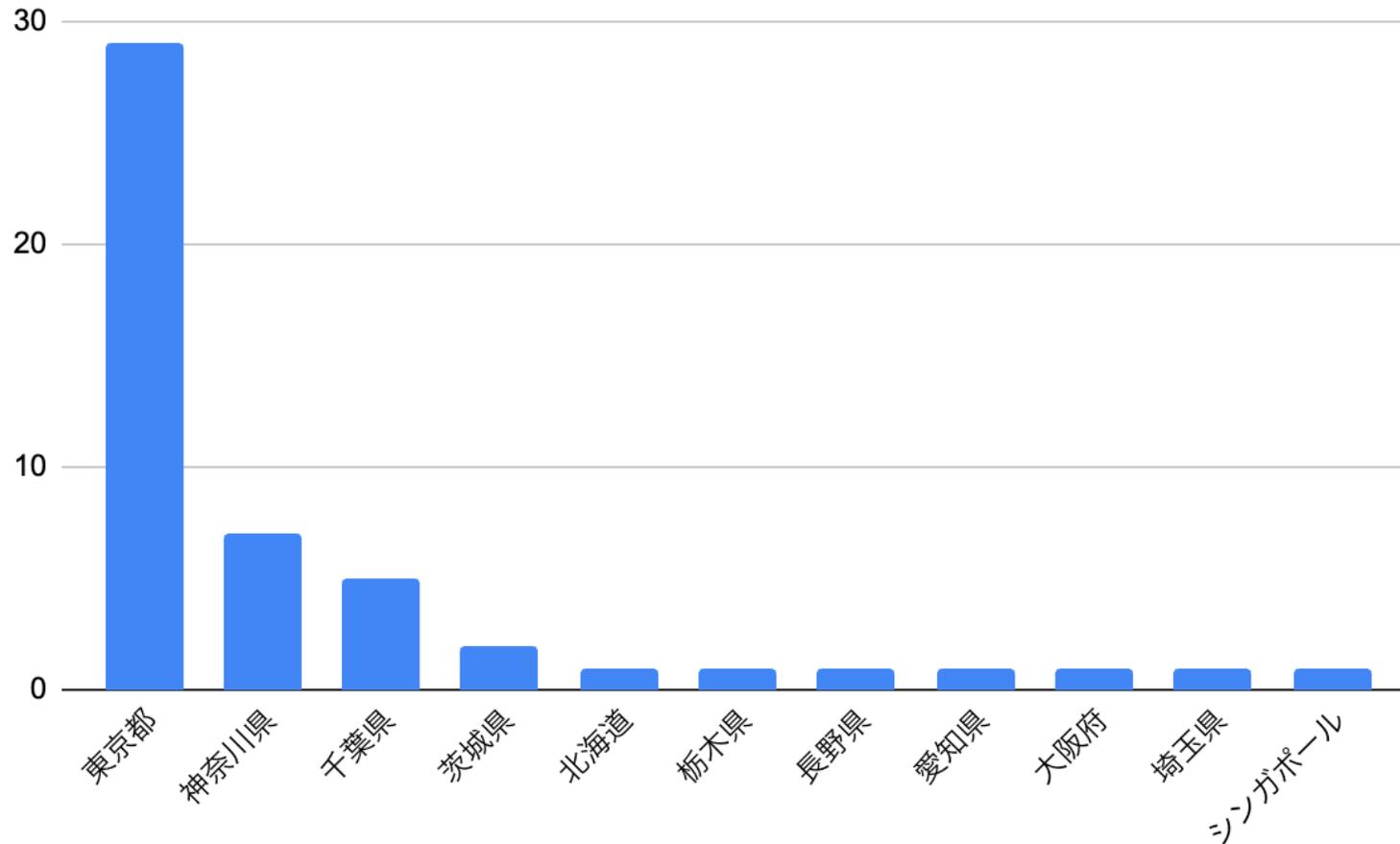
## 認知経路



Peatix申込時の取得データより

# 数字で見るSID2024

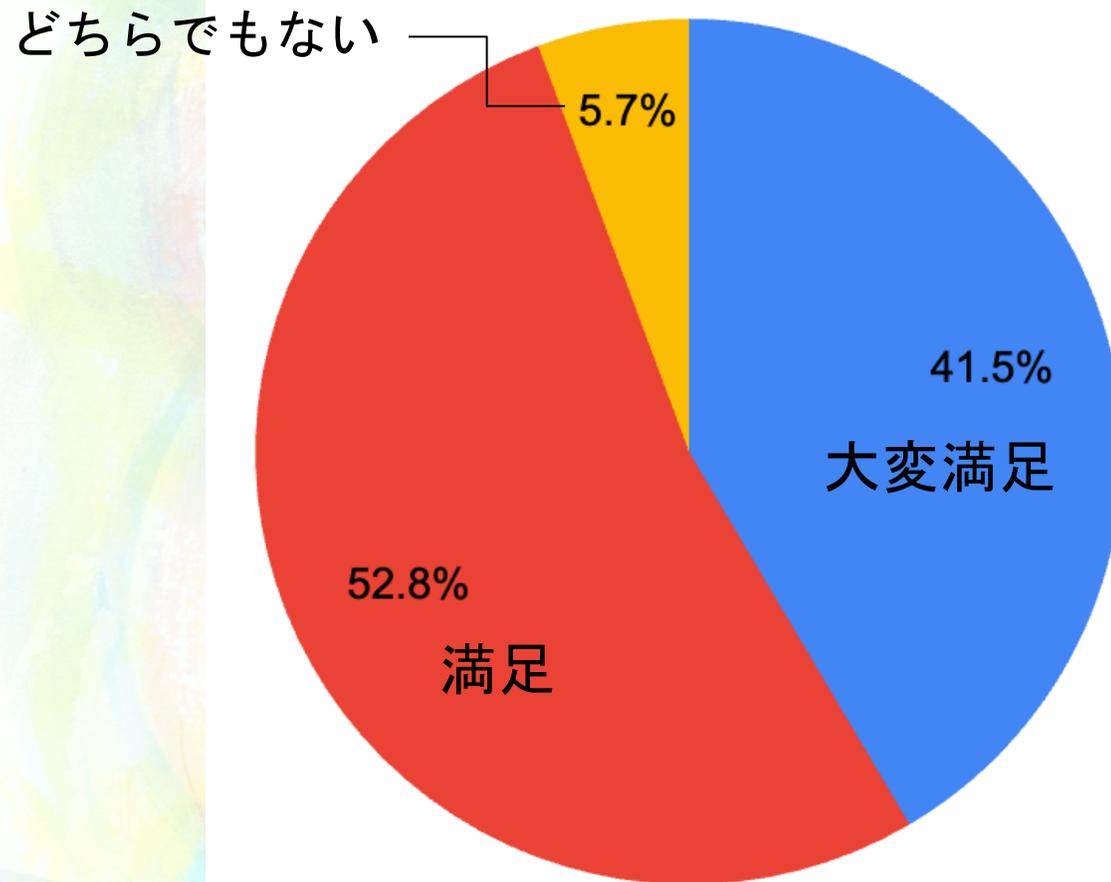
## 居住地



イベント後のアンケート結果より

# 数字で見るSID2024

## 運営満足度



イベント後のアンケート結果より  
5段階スケール

# 当日の様子



# Day1 プログラム

Day1: 2024年5月15日（水） 対面/オンライン配信	
10:00-10:20	オープニング・トーク（無料）
10:20-11:10	基調講演①（無料） 『インパクト会計をめぐるグローバルな潮流と今後』
11:30-12:40	スペシャルセッション①（有料） 『コレクティブインパクトで目指す新たな資本主義「共助資本主義」の実現』
～ ランチタイム ～	
13:30-14:30	基調講演②（無料） 『チャイルドレンズ投資とは～将来世代を最優先に考える投資フレームワークの紹介』 基調講演③（無料） 『インパクト投資におけるインパクト・マネジメントの現状と課題～BlueMark の最新ベンチマークレポートをもとに』
14:50-15:50	スペシャルセッション②（有料） 『本質的な社会課題解決を促す「システムチェンジ投資」とは』
16:10-17:00	協賛セッション①（無料） 『インパクトエコノミーにおける金融の役割』
17:10-18:10	協賛セッション②（無料） 『「インパクトの創出」と「収益の創出」の好循環を実現するインドのインパクト企業に迫る！』
18:30-20:00	懇親会（有料）

# Day2 プログラム

Day2: 2024年5月16日（木）オンライン配信

09:30-10:20	<b>スペシャルセッション③（有料）</b> 『パーパス経営と社会的インパクト: 持続可能なビジネスの新たな可能性』	
10:30-11:40	<b>スペシャルセッション④（有料）</b> 『Beyond Impact Investment: インパクトエコノミー実現の2ndステージへ ~GSG Japan NAB設立10周年に、次の10年戦略を構想する』	
11:50-12:40	<b>通常セッション①（有料）</b> 『上場するインパクト企業: インパクト拡大と事業成長を実現するための経営と資本市場との向き合い方』	<b>通常セッション②（有料）</b> 『高齢化するアジアにおけるインパクト創出に向けたフィランソロピーと投資の触媒的な役割』
～ ランチタイム ～		
13:20-		<b>協賛セッション③（無料）</b> 『ショートピッチセッション: インパクト創出への取り組み』
13:40-14:30	<b>通常セッション③（有料）</b> 『ソーシャルインパクトの「呼び水」～日本における触媒的資本の活用～』	
14:50-15:40	<b>協賛セッション④（無料）</b> 『インパクト“K”プロジェクト座談会 ~業界をリードするインパクト投資家が、実効性のあるインパクトファンドの実現を語る～』	
16:00-16:50	<b>通常セッション④（有料）</b> 『データから見る日本におけるインパクトエコノミーの現状』	<b>通常セッション⑤（有料）</b> 『国連「持続可能な開発パフォーマンス指標（SDPI）」のご紹介～サステナビリティ指標を持続性達成に必要な水準との相対的評価において考える』
17:00-18:00	<b>通常セッション⑥（有料）</b> 『次世代が語る「インパクト・ファイナンス」の今後～ここが変だよ、インパクト投資。今後の目指すべき方向性とは?』	

# Day3 プログラム

Day3: 2024年5月17日（金）オンライン配信		
09:30-10:20	<b>通常セッション⑦（有料）</b> 『インパクトエコノミー時代を体現する新しい起業家たち』	<b>通常セッション⑧（有料）</b> 『財団によるインパクト志向の取り組みの最前線』
10:30-11:20	<b>通常セッション⑨（有料）</b> 「IMPACT SHIFT」を経て見えてきたもの ～Z世代の4人がインパクトのこれからを考える	
11:30-12:20	<b>通常セッション⑩（有料）</b> 『"B" THIS WAY FORWARD ～日本でも動き出すB Corpムーブメントの最新動向～』	
12:20-12:50	<b>クロージング・トーク（無料）</b>	

特別企画	
16:30-18:00	<b>特別企画（無料）@官民共創HUB</b> 『UNICEF チャイルド・レンズ投資を理解する』
18:30-20:30	<b>特別企画（無料）@官民共創HUB</b> 『BlueMarkとインパクト検証』

# 参加者の声 「学び・気づき」

SID2024における参加者の学び・気づきについて、アンケートで以下のような声をいただきました。（一部抜粋）

- 社会的インパクト投資、ソーシャルビジネスに関する未来になるシステムチェンジ、システムチェンジ投資等を実践者からお伺いでき、大変勉強になりました！
- コレクティブインパクトのセッションで小沼様から発言のあった「資本市場の力で解決できない社会領域がやはりある」「インパクトスタートアップが広がる半面、NPOに人が来なくなっている」というコメントが心にズシッと来ました。その後米良様からありましたとおり、関心を持つ人が全体的に広がっていくことが重要であると思いますし、働きながらNPOに関わる、地域での活動を通じて様々な社会課題に取り組むことはできると思いますし、1人2足3足のわらじをはくことが当たり前になる社会になるといいと思いました。
- 共助資本主義のセッションがとても面白かったです。お立場の違うお三方が、共助というコンセプトを分かりやすく共有してくれました。また、インドの起業家の話は、インパクトのイメージが大変しやすくなった点で面白いセッションでした。
- 『次世代が語る「インパクトファイナンス」の今後～ここが変だよ、インパクト投資。今後の目指すべき方向性とは？』橋爪さんのファシリテーションが素晴らしく、この領域において皆様が深い議論を重ねられてきたことが伝わってきました。アーカイブ等で再度見直すのが楽しみです。
- 入山先生は語り口がとてもカジュアルでしたので気軽に聞いていたのですが、内容がとても分かりやすく、自分にとってのインパクト投資とは、と考えさせられました。次のセッションでも本質的に似た結論が出たという認識で、塩田様を始め皆様より「将来世代をステークホルダーに」「インパクトのアップデート」「失敗しながら発展する」「実験しましょう」というような、今後自分も使っていきたいキーワードが多く出て来て、とても刺激的でした。
- セッション⑨『「IMPACT SHIFT」を経て見えてきたもの～Z世代の4人がインパクトのこれからを考える』にて、インパクト投資やそれに取り組む関係者の姿が若い世代にどう見えているのか、どう伝わっているのかが知れて良かった。

# 参加者の声 「運営全般」

SID2024における参加者の運営全般について、アンケートで以下のような声をいただきました。（一部抜粋）

- オンライン、リアルでのW開催としていただき、ありがとうございました！家庭の事情でリアル開催の会場にお邪魔できないなか、とても助かりました！
- オンライン参加者が、各セッションの中のQ&A以外で定常的にコミュニケーションを取れる場(slack、セミナー参加者かチャットできるアプリ等)があったら、盛り上がるかなと思いました。
- こうした社会課題の解決には、産官学の連携が重要と言われますが。環境省などの「官」の人が呼ばれていないことが残念です。実務家の自画自賛セミナーばかりにせず、「官」と「学」からの視点を入れたセミナーにして頂けると、面白くなると思います。
- 資本の論理、資本市場とより深く向き合い、実務を担っている方の声をもっと多く取り上げていただきたい。必ずしも前向きな声でなくとも、インパクトのコミュニティが次に進むヒントがあるように思う。
- 今まではzoomで会場参加は初めてでしたが、熱量とか名刺交換とか熱量が伝わってきてよかったです。様々な準備や現状回復など大変だったかと思いますがスタッフ・出演者、参加者の皆さまありがとうございます。次回は共助資本主義の実践やソーシャルセクターのインパクトマネジメントを参考にしたいです。
- 会場内での飲食、特に飲み物はOKにしてほしい。全席で机が使えるようにしてほしい。昼食休憩が短いので軽食があると助かる。インパクト投資として認められない事例集も見たい。
- 多様な人々が参加できる内容にして欲しい。

# 参加者の声 「今後の期待」

SID2024における参加者の今後の期待について、アンケートで以下のような声をいただきました。（一部抜粋）

- 事業会社で助成/インパクト投資に取り組んでおり、本会で事業に活きる情報収集をすることができ、感謝です！このような活動を是非継続していただければ幸いです！
- 企画をありがとうございました。普段なかなかお会いできない方々のお話をお伺いできて、貴重な機会をありがとうございました。大変勉強になりました。
- 政治で解決できない社会課題を解決していくことがインパクトに求められる役割ですが、政治（税金）で解決する方がよい場合もある訳ですから、今よりさらに「官」との交渉役になるような活動を期待しています。
- 世界的な大きなトピック、先進事例が複数あったのはとても刺激になりました。一方でもう少し小さな物語（各NPOの事例紹介など）ももう少し伺えるとありがたかったです。（オンラインで未視聴のものがありますが）全体としてはとても良かったです。ありがとうございました。
- システムチェンジ投資に関して、重要なテーマだからこそ、これから学ぶ一般層にもわかるようにさらなる咀嚼と言語化を期待したい。
- 金融・投資だけの内容ではなく、企業・ビジネス向けのセッションを増やしてほしい。
- インパクトスタートアップ協会のセッション等、インパクトスタートアップの登壇にも期待したい。
- 海外の動向や情報について引き続き発信してほしい。
- 久しぶりに対面開催になり、みなさんに会えて楽しかったです。
- 企業、ソーシャルセクターの繋ぎ目としての活躍を引き続き期待しています。
- 今後もSocial Impact Dayを開催されることを願っています。

# 協賛

SID2024は、以下の組織・機関に御協賛いただき実現しました。感謝申し上げます。

プラチナ

ともに挑む。ともに実る。

**MIZUHO**

ゴールド

 **かんぽ生命**  
INSURANCE

シルバー



NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

ニッセイアセットマネジメント株式会社



IMPACT CIRCLE

ブロンズ

*and* PUBLIC

# 後援

SID2024は、以下の組織・機関に御後援いただき実現しました。感謝申し上げます。



# 共催・協力

SID2024は、以下の組織・機関に共催・協力いただき実現しました。感謝申し上げます。



(セッション共催)

## インパクト志向金融宣言

Japan Impact-driven Financing Initiative

(セッション共催)

一般社団法人  
官民共創HUB



# SID2024を終えて

5月15日から17日の3日間に渡って開催した[Social Impact Day 2024](#)は、全23セッション+特別企画2本、併せて1007名のお申し込みいただき、盛会のうちに終了いたしました。ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

インパクト・エコノミーを巡っては、前回から今回のSocial Impact Dayの間にも様々な変化が起きています。中でも、関与するステークホルダーが増え、ますます大きなうねりとなっていることは特筆すべきことです。代表例として、昨年11月に設立され、投資家・金融機関、企業、自治体等の幅広い関係者が参加する[インパクトコンソーシアム](#)が挙げられます。また、20代～30代の方々が中心となって企画した[Impact Shift](#)が大きな盛り上がりを見せたことは、業種・業界だけでなく、世代の広がりを感じさせるものでした。このような大きな流れのなかで、Social Impact Day 2024は、新たな試みを取り入れながら開催しました。1つ目は、初日に対面開催を取り入れるハイブリッド型としたことです。コロナ禍を経て、対面で交流することの意義が見直され、ニーズが高まっていたことが背景としてあります。2つ目は、企画・運営における連携を強化したことです。SIMIとSIIFの共催として企画するとともに、インパクトコンソーシアムの第1回総会も兼ねた[インパクトフォーラム](#)や東京都の[SusHi Tech Tokyo 2024](#)との連携イベントとして開催しました。結果として、「インパクト・ウィーク」として学び多くかつ賑やかな週となったのではないのでしょうか。

日本の動向は海外からも注目されています。Social Impact Day 2024では、3つの基調講演やスポンサーセッションで、登壇者が来日して対面で講演してくださいました。また、参加者にも海外から来てくださった方が多数いました。海外登壇者・参加者からは、Social Impact Dayへの参加やその前後での様々なコミュニケーションを通じて、日本での取り組みに対する期待と、連携強化の必要性を感じたとの声をいただいています。主催者としても、国を超えた連携に手ごたえを感じました。

さて、Social Impact Dayから約1か月が経過し、「祭りの後」のような感覚に陥りがちですが、そうはいってはいられません。環境や社会に関する課題が世界レベルで山積する中、インパクトの創出に取り組み続けている、あるいは、新たな取り組みをはじめようとしている皆様とともに、SIMIとしてもたゆまぬ歩みを続けて行きたいと考えております。Social Impact Dayが、皆様にとっての新たな発見や繋がりに少しでも貢献できたのであれば幸いです。

# 主催団体の紹介

## SIMI

社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ  
Social Impact Management Initiative

一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）は日本において事業者、資金提供者・仲介者、行政、中間支援組織・シンクタンク、評価者・研究者など多様なメンバーが連携して、日本全体として「社会的インパクト・マネジメント」を普及させるためのマルチセクター・イニシアチブです。 <https://simi.or.jp/>

<理事>

- 今田 克司 株式会社ブルー・マーブル・ジャパン代表取締役（代表理事）
- 伊藤 健 特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパン代表理事（業務執行理事）
- 鴨崎 貴泰 特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会常務理事（専務理事）
- 幸地 正樹 ケイスリー株式会社代表取締役
- 高木 麻美 株式会社Stem for Leaves代表取締役

## SIIF

Social Innovation  
and Investment Foundation  
社会変革推進財団

企業、自治体、NPO団体、教育研究機関など共に、自助・公助・共助の枠組みを超えた社会的・経済的資源循環のエコシステムの実現のために、数々の計画立案と実行や支援を行なっています。 <https://simi.or.jp/>

<理事>

- 理事長 大野 修一
- 専務理事 青柳 光昌
- 常務理事 工藤 七子
- 常務理事 高石 良伸
- 理事 永田 俊一 三菱UFJ信託銀行信託博物館長、元預金保険機構理事長
- 理事 有馬 充美 元みずほ銀行執行役員、株式会社西武ホールディングス 社外取締役